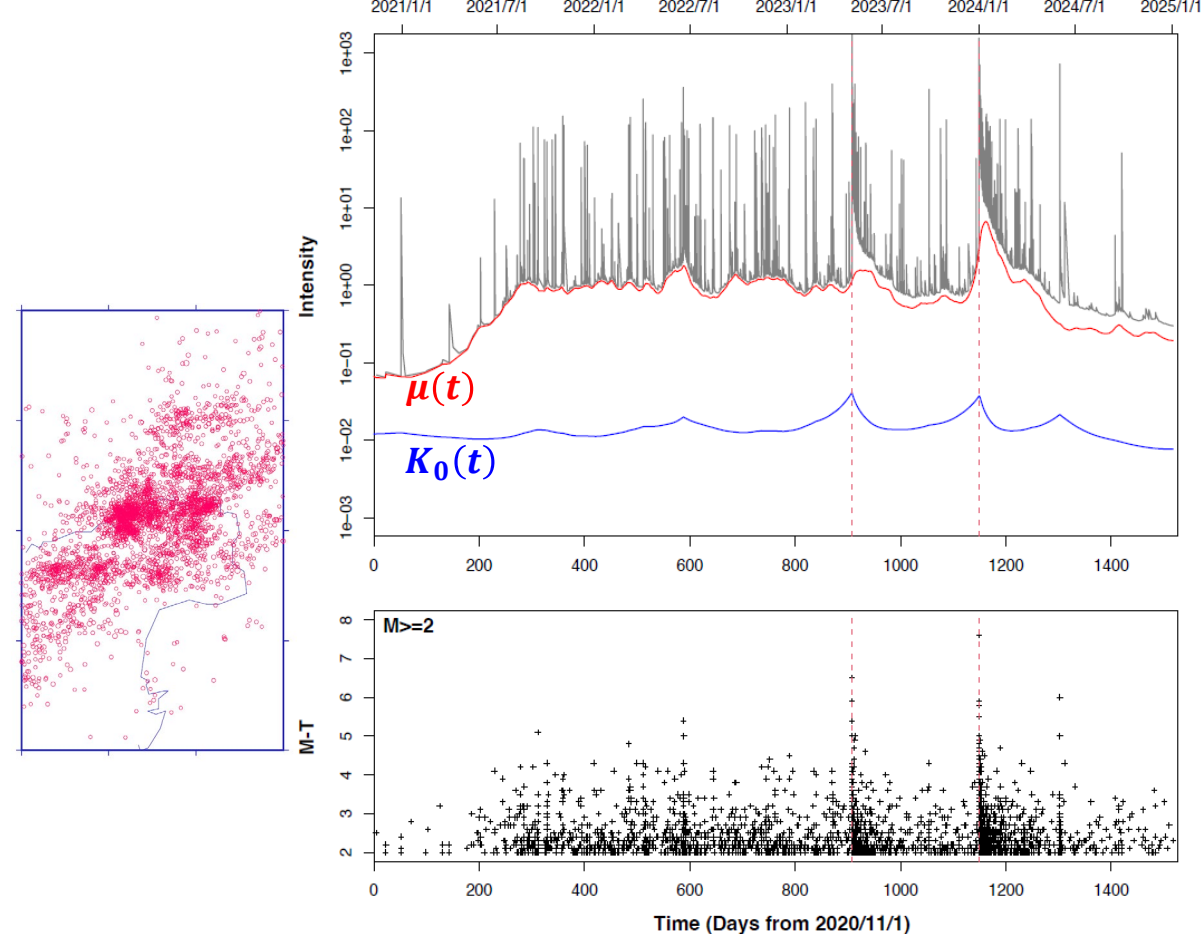
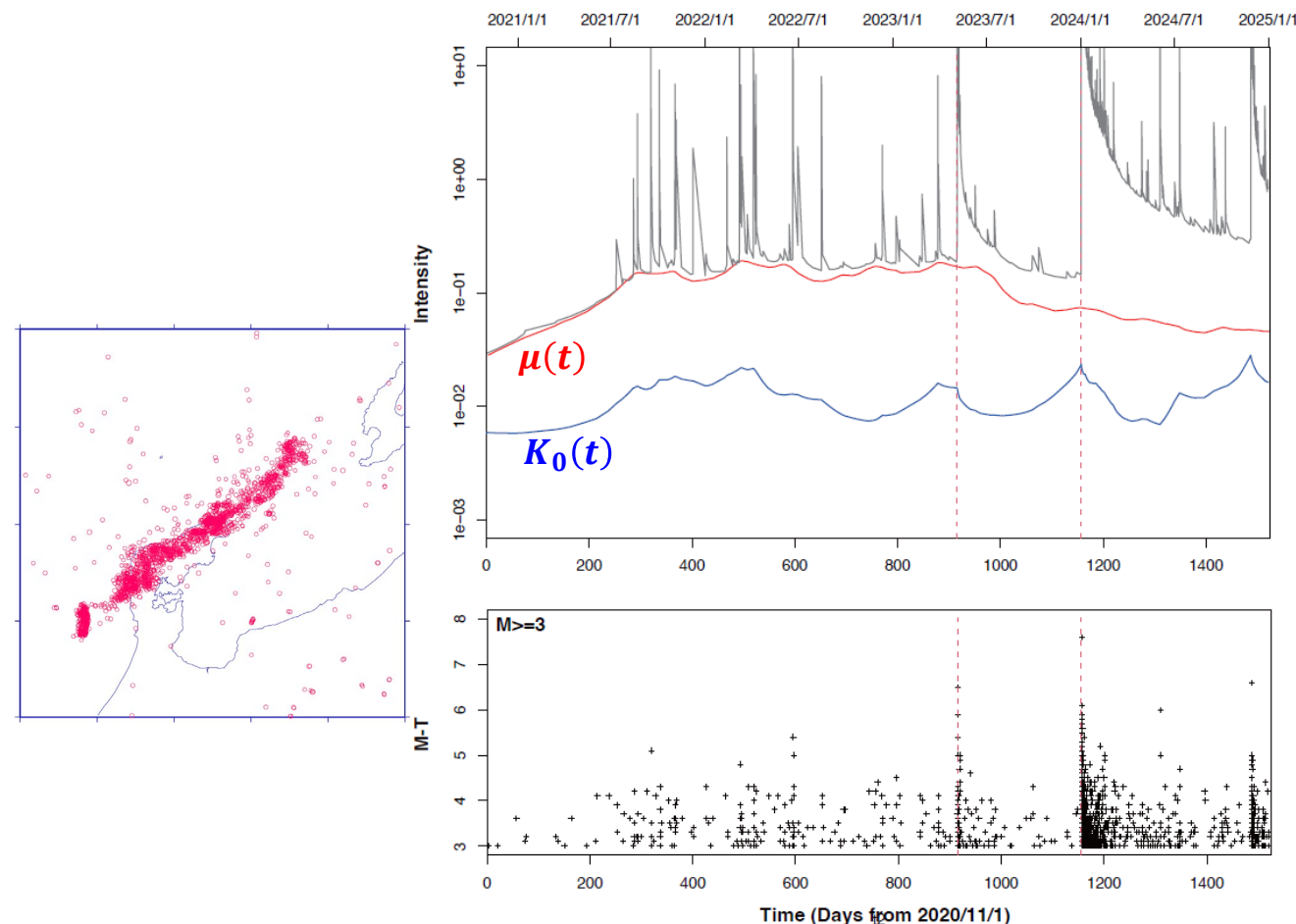


非定常ETASモデル(Kumazawa and Ogata, 2013) による石川県能登地方の地震の背景地震活動度 $\mu(t)$ の推定

非定常ETASモデル: $\lambda_{\theta}(t|H_t) = \mu(t) + \sum_{\{i:S \leq t_i < t\}} K_0(t) e^{\alpha(M_i - M_c)} / (t - t_i + c)^p$ $\lambda_{\theta}(t|H_t), \mu(t), K_0(t)$ の単位は地震数/日 *時間方向の平滑化あり

広域：2020年11月1日～2025年1月4日，下限マグニチュード：3.0

群発域：2020年11月1日～2025年1月4日，下限マグニチュード：2.0



- ・ 背景地震活動度が2023年夏頃から相対的に低下していた状況で、2024年M7.6の地震が発生した。
- ・ 背景地震活動度は徐々に下がりつつあるが、群発地震活動前に比べて依然として高い状況である。